

【古川とうふ店 スキルアップ支援事業】

令和6年2月15日

サービス管理責任 鶴沼理恵

OJTのサビ管 森 新一

(職員支援内容 記録)

議題：利用者の総菜製造についてレポート作成と利用者を見る支援体制の強化サポート

題材：①今の全体的な現状把握・作業経過時間と実績評価

②仕事を果たことで生活面での変化は？

参加者：森新一・樋渡康浩・菅原敏昭

記録：森新一

① 仕事の現状

全体的を客観的に見て、現状では利用者の一人一人の成長が見て取れないところもあるなという感じです。リーダー的な利用者がいますが、他者は任せきりな状態でもあるかと見て取れる。数人の利用者に比重が重なり重くなるのが手に取るようにわかる。

同じ条件で働いているので、見直しが必要である。

休みの人が多くいるのも古川とうふ店の独特な特徴である、法人内で一番休む人が多いことは事実で、ここも問題と取れ得ないとならない。

理由は前の職員の方々の支援力不足であると結論付けられる。

今回のスキルアップ支援体制は、利用者のスキルアップも当然の事でもあるが、同時に職員の支援力向上という重要議題も含まれています。

今のままでは、レベルが伸びないと思われる。＝売上・利益が出ないという事！
抜本的な改革が必要です。

② 実績

完全に全作業をこなせる利用者は全体の40パーセントぐらい

まだまだ訓練と支援が求められる。

【踏み込んだ支援の方法】

※今までやってきたことが全ての作業では無いのだという考えを植え付けること

※これを終わらせ、早く次の作業に移るというイメージを持たせ作業にあたる事

※この作業だけが自分の仕事と勘違いしている利用者があるので改めること

※有給休暇の取得の方法を徹底して指導すること、理解されていない部分ある

※具体的な売上と収益、そしてみんなの給料という仕組みを教える機会をつくる

※生活面でのサポートを充実させていくこと

③ 仕事を得ての生活面での変化

全体的には、出勤率が低いのですが

その割には、私生活が充実しているのか不安が感じ取られる利用者が多い

収入が増えたことで生活保護費の兼ね合いなどで悩んでいる利用者もいる
働けば保護費が減ると。。

休まないで来ている利用者は体調管理がしっかりしている。

A型利用で、収入が安定してきたという意見が多く出ているのは事実であり
作業に向き合う意欲は皆さんお持ちなので、作業意識を改善することは充分
可能であり、楽しみでもある。

↷秋ごろに、再度、スキルアップ支援を行いたい。

障害者の利用者ではない、パートでの採用も法人内で始めました。

利用者

氏名 ■■■ 堀 ■■■ 令和6年1月30日

本人記載欄

職員記載欄

①仕事の現状

三角揚げの仕込みが
たいていできてきたと思う。

■■■さんは仕事が理解できていて
作業の段取りも良いです。
通勤も休まずにこなしているので
安定してよります。
かかせない存在となりつつあり
よいに期待しています。

②実績

自分は、80%くらい
たいていできています。

生地切りのところが少し乱れる。
75%くらいで考えていて。
今後は、生地と揚がりの関係性とか
再向酌な考えを勉強して行きたい。

③仕事を得ての生活面での変化

仕入がよくなって密着度からき
たよりにできています。

家庭内でも収入が大事です。